

講座番号 <b>D01</b>	講座名：
	<b>私たちの身近な経済活動と環境問題との関係をさぐる</b>
講師名：東北工業大学 経営コミュニケーション学科 小祝 慶紀	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
	○	○	○	○	○


実施会場	・たまきさんサロン ・受講団体が準備 (教室、講義室など)
------	-------------------------------------

対応人数	10人～50人
所要時間	30～90分程度
受講者が準備するもの	スクリーン、その他適宜相談

参考教科※1	小3～小6 社会・総合的な学習の時間
参考SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となるSDGsのゴール

講座概要	持続可能な経済、環境とは/ブーメラン教室(なぜブーメランは戻るのか)
講座内容	<p>～私たちの経済・生活を考え直してみよう～ (小学校～大人向け)</p> <p>○現代の経済 ○環境問題と経済 ○SDGsと環境・経済</p> <p>○これからのエコ生活 ○持続可能な経済、環境、エネルギーとは</p> <p>～ブーメラン教室～ (子どもも可能)</p> <p>○なぜブーメランは戻るのか (趣味の話 宮城県ブーメラン協会事務局)</p> <p>紙ブーメラン作成の場合、紙ブーメランキット代(100円×使用枚数)が必要となります。</p>  <p>(ブーメラン教室の様子)</p>
講師よりコメント	<p>私たちは日々経済活動の中にいます。経済活動はさまざまな環境問題へとつながっています。そこで、私たちの日々の経済活動が環境問題へとどうつながっているかを、経済学の視点から、わかりやすく解説します。</p> <p>また、宮城県ブーメラン協会としてブーメランの普及活動も行っています。親子でまずは、紙ブーメランを作って飛ばしてみませんか。</p>
備考	<p>実施時間の調整を行うことも可能です。</p> <p>実施内容については、様々なニーズにあわせて対応することができます。</p>

講座番号 <b>D02</b>	講座名：
	<b>興味・関心を引き上げる子ども向けの防災教育</b>
講師名：東北工業大学 都市マネジメント学科 小野桂介	

対象者	未就学児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中高生	大人
		○	○		

実施会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまきさんサロン</li> <li>・受講団体が準備（教室、講義室など）</li> </ul>
------	---

対応人数	10人～30人（要相談）
所要時間	45-90分程度（内容に応じて）
受講者が準備するもの	スクリーン

参考教科 ※1	
参考 SDGs※2	 

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座概要	Minecraft を活用した 3D 防災教育ツールにより地域の浸水危険度を学習します。
講座内容	<p>以下の流れで地域の危険度に関する理解を深めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 洪水や津波に関する一般的な学習（講師による座学）</li> <li>2. 3D 防災教育ツールによる地域の浸水危険度の学習（実習） <ul style="list-style-type: none"> <li>（ア）ノートパソコンの配布（一人一台）、ゲーム操作の説明</li> <li>（イ）仮想空間上で、小学生の住む地域が再現されたワールドを散策</li> <li>（ウ）地域の浸水危険度について学習</li> </ul> </li> <li>3. まとめ、アンケート</li> </ol>
	 
講師よりコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人気のゲームを活用し、地域の浸水危険度に関して学習します。ゲームの活用により、興味・関心を高め、生徒が主体的に学習することを狙いとしています。</li> <li>・学習目標は、生徒が自宅の浸水危険度を認知することです。（例えば、腰の高さまで浸水するのか、頭の高さまで浸水するのか等）</li> </ul>
備考	洪水や津波の浸水危険度が大きい地域を対象としています。また、行政機関の公開する 3D データを活用するため、地域によってはデータが存在せず、対応を相談させていただく場合があります。

講座番号 <b>D03</b>	講座名：
	<b>ワリバシでタワーを創ろう！（親子体験講座）</b>
講師名：東北文化学園大学 建築環境学科 一條佑介・八十川淳	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人	実施会場
		○	○	○	○	

対応人数	10人～100人	参考教科 ※1	
所要時間	90～120分	参考 SDGs※2	
受講者が準備するもの	なし		

※1 小学校で利用する際に参考となる学習指導要領の該当科目

※2 参考となるSDGsのゴール

講座概要	家庭や学校ではできない体験型講座。割りばしと輪ゴムで重さに負けないタワーをつくりましょう！（お子さんのみの参加もOK！）
講座内容	<p>身近な素材の割りばしと輪ゴムを使って、タワーを創ります。夢中になること請け合いです！ お友達同士での参加はもちろんのこと、親子での参加も、楽しさが倍増します！楽しくモノづくりの勘所を体得します。</p> <p>完成したら、1kgの重りを載せてみます。重りに耐えられなかったり、高さが高いとそもそも自立しなかったり。構造物の耐力上の弱点も見えてきます。</p> <p>構造物の構成方法や弱点についての知恵や知識は、きっと将来、環境にやさしく災害に強い都市づくりに役立つことでしょう！</p> <p>（お子様へ）</p> <p>たてものってどんなこうぞうなのかな？ わりばしを輪ゴムでつなげて、おおきなタワーをつくります。たてもののしくみがわかるかも。 どんなタワーができるかな？ おもさにまけない強いタワーができるかな？</p>
講師よりコメント	建物に限らず、身近なものは複数の部品を組み合わせて構成します。モノの組み合わせ方を考えて理解して、実践する入門編の体験講座です。学校での総合学習や、子供会などのご要望にも対応します。
備考	

講座番号 <b>D04</b>	講座名：
	<b>知っているようで、知らないローソンの秘密！（環境対策）</b>
講師名： <b>株式会社ローソン 東北エリアサポート部</b>	

対象者	未就学児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中高生	大人
		○	○	○	




実施会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまきさんサロン</li> <li>・受講団体が準備（教室、講義室など）</li> </ul>
------	---

対応人数	応相談
所要時間	45分～60分
受講者が準備するもの	特になし

参考教科 ※1	小3～高校生
参考 SDGs ※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座概要	身近なコンビニエンスストアであるローソンのSDGsについて（小学校で45分出前授業も行えます）
講座内容	<p>コンビニエンスストアのローソンは、24時間年中無休を基本に営業しています。24時間街を照らすローソンですが、その中では知らないところで皆さんが驚くようなSDGs対策が進んでいます。毎日買い物に行く身近なローソンで、店舗の環境対策、地域や学校植樹への協力、地域のコミュニティとしての役割、そしてお客様の健康を考えたの商品開発、今では、無くてはならないインフラとしてのコンビニエンスストアについても解かりやすく説明して行きたいと思えます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
講師よりコメント	身近なローソンですが、昔は便利なお店という事が中心でした。近々では社会に無くてはならない存在と成りつつあります。SDGs、環境対策を中心として、コンビニエンスストアの地域での役割について説明いたします。
備考	出前授業（学校）で行う場合45分間の研修を実施致します

講座番号 D05	講座名：
	子供と大人の SDGs 学習ゲーム Get The Point
講師名：高野裕一	

対象者	未就学児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中高生	大人	実施会場	屋内施設
		△	○	○	○		

対応人数	12名まで	参考教科 ※1	
所要時間	90分	参考 SDGs※2	
受講者が準備するもの	なし		

※1 小学校で利用する際に参考となる学習指導要領の該当科目

※2 参考となる SDGs のゴール



講座概要	カードを使って獲得点数を競うシンプルゲームで SDGs の根底にある持続可能性を体験できます
講座内容	<p>プレイヤーは「2つの物語」を体験していく設計になっています。</p> <p>1ゲーム目と2ゲーム目はたった一つのルールのアレンジで、ゲーム上の世界が一変します。</p> <p>2つの世界を経験し、自分自身の経験を比較することで、「持続可能な社会とはどういうことか」「なぜ持続可能な社会を作る必要があるのか(それが自分たちにとって何故必要なのか)」「持続可能な社会を作っていくために必要な姿勢やマインド」について、小学生から大人まで、理解を深められます。</p>
講師よりコメント	<p>4名1組で実施するため4名(1チーム)・8名(2チーム)・12名(3チーム)のいずれかが対応人数です。</p> <p>ゲーム実施時は人数分の机と椅子、プロジェクター(HDMIケーブル含む)の貸与をお願いします。</p>
備考	子供と大人の SDGs 学習ゲーム Get The Point は認定を受けたファシリテーターのみが開催できます。

講座番号 <b>D06</b>	講座名：
	<b>仙台城下の四ツ谷用水の歴史と利活用</b>
講師名：「四ツ谷の水を街並みに！」市民の会	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
		小3～	○	○	○




実施会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまきさんサロン</li> <li>・受講団体が準備(教室、小ホールなど)</li> <li>・用水の現地など</li> </ul>
------	--

対応人数	(講義) 50人程度 (活動) 10人～30人
所要時間	(講義) 60分程度 (活動) 120分程度
受講者が準備するもの	(活動) 必要とされる服装や準備物

参考教科 ※1	小3～小6 社会
参考SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となるSDGsのゴール

講座概要	水環境の大切さ、四ツ谷用水の歴史と利活用について学ぶ
講座内容	<p>四ツ谷用水の歴史と利活用について学びます。</p> <p>(講義)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「仙台藩発足と同時につくられ、今日の仙台市(仙台城下)の土台ともなった都市環境・生活施設、それが四ツ谷用水です。</li> <li>○この用水はどのように造られ、どのような働きをしてきたのか、その移り変わりをみていきます。</li> <li>○そして今、「杜の都」と云われるにふさわしい水緑(水土里)環境を大切にしたいとの思いから、その歴史遺産や保全のあり方を考えます</li> </ul> <p>(活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実際に用水の流れる上流(郷六取水口～大崎八幡宮)、下流(大崎八幡宮～仙台東照宮)の区間で現地観察をしながら講義のリード部分の学習を並行させます。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>
講師よりコメント	<p>四ツ谷用水を例に仙台の水文化そして環境共生(都市と自然の付き合い)を考えよう。</p> <p>400年経ても広瀬川の水が地下を流れ続けている事を個々に体感してほしい。</p>


備考	所要時間の調整を行うことも可能です。 実施方法は、集合場所・会場、講義・行動の選択など、ニーズにあわせて対応できます。
----	--

講座番号 <b>D07</b>	講座名：
	<b>生体を修復するセラミックスについて学んでみよう</b>
講師名：東北大学大学院 環境科学研究科 上高原 理暢	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
			○		

実施会場	・たまきさんサロン ・受講団体が準備 (教室、講義室など)
------	-------------------------------------

対応人数	10人～140人程度
所要時間	60分～120分
受講者が準備するもの	プロジェクター、スクリーン

参考教科 ※1	
参考 SDGs※2	

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座概要	様々な分野で利用されるセラミックス 生体を修復するセラミックスについて学ぶ
講座内容	昔から人々は自然の素材と火を使って陶磁器やガラスなどのセラミックスを作り利用してきました。科学技術の進歩により、セラミックスは様々な分野で利用され、病気やケガで欠けてしまった人の骨を治す「生体材料」にまで使えるようになりました。この講座では、生体を修復するセラミックスについて学んでみましょう。生体を修復するセラミックスを実際に作ってみる体験もできます。
講師よりコメント	
備考	講義のみの方は、たまきさんサロン以外でも実施可能です。体験を含む方は、サロン以外の場合は、物品の運搬が必要なので物品の輸送サポートをいただける場所に限り実施可能です。



講座番号 <b>D08</b>	講座名：
	<b>外国の ECO なまちづくり</b>
講師名：東北工業大学 都市マネジメント学科 近藤 祐一郎	

対象者	未就学児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中高生	大人
			○	○	


実施会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまきさんサロン</li> <li>・受講団体が準備（教室、講義室など）</li> </ul>
------	---

対応人数	10人～30人（要相談）
所要時間	45分程度（内容に応じて）
受講者が準備するもの	プロジェクターとスクリーン，または大型モニター

参考教科 ※1	小4～小6 社会
参考 SDGs ※2	 

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座概要	外国の町を歩きながら出会った ECO なまちづくりについて 5R の視点から紹介
講座内容	<p>外国の町を歩きながら出会った ECO なまちづくりについて、5R (Reduce, Reuse, Recycle, Refine, Reaction) の視点から紹介します。そして、わたしたちのまちで、わたしたちができることは何か、それらについて考えるきっかけとします。</p> <p>■講座の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境問題の全体像</li> <li>2. 地球温暖化のメカニズムと身近でできる適応策</li> <li>3. 外国の Reduce (削減) の事例</li> <li>4. 外国の Reuse (再使用) の事例</li> <li>5. 外国の Recycle (再利用) の事例</li> <li>6. 外国の Refine (洗練) の事例</li> <li>7. 外国の Reaction (行動) の事例</li> <li>8. わたしたちのまちでできること，まとめ</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>リサイクル</p>  <p>犬のフン専用回収箱 (パリ, フランス)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>リアクション</p>  <p>黄色い水仙と標識 (レディング, イングランド)</p> </div> </div>
講師よりコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PC とプロジェクターを使い、写真を中心に紹介します。</li> <li>・一方向的な情報提供ではなく、児童生徒へ投げかけながら双方向授業で行います。</li> <li>・必要に応じて配布資料を用意します。</li> </ul>
備考	<p>実施時期：通年可</p> <p>実施内容や実施方法については、ご要望にあわせて対応することができます。</p>

講座番号 <b>D09</b>	講座名：
	<b>考えよう地域の水害防災・風を感じよう</b>
講師名： <b>カワラバン 菅原 正徳</b>	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
			○	○	○


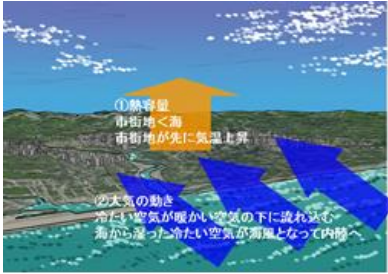
実施会場	・たまきさんサロン ・受講団体が準備 (教室、講義室など)
------	-------------------------------------

対応人数	120人まで
所要時間	90分～
受講者が準備するもの	プロジェクター、スクリーンなど

参考教科 ※1	小4～小5 社会
参考 SDGs※2	 

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座概要	温暖化等に伴う水害の増加や減災を学ぶ
講座内容	<p>①考えよう地域の水害防災 温暖化等に伴う水害の増加や減災を学ぶプログラムです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地球上における水の循環について</li> <li>温暖化による水循環の変化と水害について</li> <li>水害の種類について</li> <li>水害時の減災について</li> </ol> <p>②風を感じよう ヒートアイランド現象を緩和する海風を学ぶプログラムです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ヒートアイランド現象について</li> <li>夏季の海風について</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>①地域の水害防災マップづくりの様子 ②海風のイメージ</p>
講師よりコメント	<p>①上記の内容を学習したのちに、地域の浸水箇所の調査を行ったり、調査をもとにした水害防災マップづくりを行うとより効果的です。</p> <p>②プログラム作成以降、詳細な気温分布の調査が行われていないので、実施を希望する場合は事前にお問合せください。</p>
備考	<p>実施時間の調整を行うことも可能です。</p> <p>具体的な活動内容はリクエストにあわせて対応することができます。</p>

講座番号 <b>D10</b>	講座名：
	<b>身の周りの環境講座(水の探索人)</b>
講師名：仙台リバーズネット・梅田川	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
			○	○	○



実施会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまきさんサロン</li> <li>・受講団体が準備 (教室、講義室など)</li> </ul>
------	--

対応人数	応相談
所要時間	応相談
受講者が準備するもの	応相談

参考教科 ※1	小4～小6 社会
参考 SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座概要	食料自給率、フードマイレージや間接水について、体験を通して学ぶ
講座内容	<p>○水の探索人（自給率・地球温暖化・フードマイレージ・間接水他）</p> <p>カレーライス一杯の中には表面的に見ることが出来ない約1トンの「水」が隠れています。物を作る段階で使われる多くの「水（間接水）」の存在を知ること、「水」の大切さ、引いてはその物自体を大切にする（残さず食べる）ことを学習します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>学校での環境学習講座の風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>間接水の探索活動</p> </div> </div>
講師よりコメント	知識を得ることは勿論ですが、その知識によって何らかの行動を自ら起すかが環境教育では大切なこと。人間は聞いたことは忘れる！見た事は思い出す！体験したことは理解する！人間は理解無では行動に移らない。だから体験（バーチャルも含め）を重視した講座を心がけています。
備考	受講対象者にあわせて調整させていただきますので、お気軽にご相談ください。

講座番号 <b>D11</b>	講座名：
	<b>身近な水辺保全と環境問題を考える</b>
講師名：東北工業大学 環境応用化学科 山田 一裕	

対象者	未就学児	小学校 1~3年	小学校 4~6年	中高生	大人
			○	○	○

実施会場	・たまきさんサロン ・受講団体が準備 (教室、講義室など)
------	-------------------------------------

対応人数	4人~60人
所要時間	45分~90分程度
受講者が準備するもの	プロジェクター・スクリーンまたはモニター

参考教科 ※1	小4~小6 社会
参考 SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座	世界の水問題と私たちの食生活とのつながりを身近な食材を通して考える	
講座内容	<p>(講義) *以下より選ぶことができます</p> <p>○世界の水問題と私たちの食生活とのつながり 6年生社会科「世界の中の日本」に関わる内容です。世界の水問題は日本の食生活と密接につながっています。モロッコは日本から遠く離れている国ですが、日本の食卓にはモロッコ産の食材もよく見かけます。モロッコなどの諸外国の産業や環境問題を取り上げ、持続可能な社会づくりのための日本の役割や生活のあり方を考えてもらいます。</p> <p>○みやぎの音風景“北上川のヨシ原”保全をSDGsの視点で考える 川岸などに普通に生えている水生植物ヨシは、昔から建築(屋根)や建具の材料として使われたり、たくさんの生き物のすみ場であったり、癒やしを与えてくれる場所として利用されてきました。石巻市を流れる北上川下流域のヨシ原は、「残したい日本の音風景百選(環境省)」に選ばれたり、刈ったヨシは、地域の伝統建築物の修復に使われています。地域の人々がどのように関わり、ヨシ資源の利用と保全に向けて取り組んでいるか、SDGsの視点で解説をします。</p>	 <p>授業のようす</p>  <p>北上川下流のヨシ原</p>
講師よりコメント	<p>大学では、水質化学や生態学的方法で水環境の保全や再生のあり方を研究したり、児童向けに水環境問題を理解するための科学実験などの教材やプログラム作りにも取り組んでいます。青年海外協力隊(モロッコ、水質検査隊員)に派遣された経験あり。大学での研究成果などをNPOなどでの環境保全活動に還元しながら、実践的な環境問題解決に取り組んでいます。</p>	
備考	<p>実施時間の調整を行うことも可能です。 実施内容については、相談の上、さまざまな教科内容に対応させます。</p>	

講座番号 <b>D12</b>	講座名：
	<b>アクティブラーニングとしての防災教育</b>
講師名： <b>東北大学大学院 教育学研究科 谷口 和也</b>	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
			○	○	○

実施会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまきさんサロン</li> <li>・受講団体が準備（教室、講義室など）</li> </ul>
------	---

対応人数	10人～40人程度（応相談）
所要時間	45分～120分程度（応相談）
受講者が準備するもの	プロジェクター、スクリーンなど（なければ当方で対応できます）

参考教科※1	小4 社会 小5 社会
参考SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となるSDGsのゴール

講座概要	学校や地域で参加者が主体的・対話的に学びながら防災について考える講演
講座内容	<p>①さまざまなアクティビティを通して地域防災について話し合うワークショップ。学校や地域の実情やリクエストに合わせて数十種類の授業プランから組み合わせて構成いたします。参加者が楽しくそれぞれの地域や環境に合った防災について学べるアクティビティを用意して、投げ込み授業や単独の講演会を行います。上記参考科目以外にも、さまざまな学年・校種・教科目に対応が可能です。</p> <p>②上記の授業をオンラインで行ったり、YouTubeの動画経由で行ったり、指導する先生方を介して間接的に行うこともできます。各校や団体の実情に合わせてご相談ください。</p> <p>③災害時でも水も使わず、異臭・悪臭もしない環境にやさしい携帯トイレの製作体験。小学生にも作っていただけます。作ったトイレは、教室で非常時のためにストックいただけます。また、この活動は、高齢者施設や地域へ非常用携帯トイレを寄贈するという、子どもたちの身近な社会参画にも発展させられます。</p>
講師よりコメント	一般の防災教育は「非常時に対応するための知識や態度」を教えるものが多いですが、これらの授業は、それぞれの地域や環境に合わせて「日常生活における子どもたちの役割自覚」をめざしたものが多いのが特徴です。
備考	1時間授業（45分）、2時間授業（90分）など受講者にあわせて、ご相談ください。

講座番号 <b>D13</b>	講座名：
	<b>仙台・水辺の郷土学講座</b>
講師名： <b>東北文化学園大学 建築環境学科 八十川 淳</b>	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
			○	○	○

実施会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまきさんサロン</li> <li>・受講団体が準備（教室、講義室など）</li> <li>・希望により現地散策も</li> </ul>
------	--

対応人数	(講義) 10人～300人程度 (散策) 20人まで
所要時間	(講義) 60分～120分程度 (散策) 120分程度
受講者が準備するもの	(講義) プロジェクター、スクリーン等 (散策) 散策に適した服装等

参考教科 ※1	総合的な学習
参考 SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座概要	街なかの水辺と水循環／川と陸の本来の姿（大地の見立てを再考する）
講座内容	<p>私達の先人は自らの足元に繋がる地形と環境の「水土」を見極めて、暮らしや地域社会を創造し、歴史を拓いてきました。町なか水路の痕跡を辿ることで、これに係る人々や地域史・生活史を確認し、われわれの都市と暮らしについて、再考しましょう。</p> <p>①街なかの水辺と水循環</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○四ツ谷用水の本流の物語</li> <li>○へくり沢と鶏沢、国見-八幡町の水辺</li> <li>○北山の湧水たちと北九番丁川（梅田川の源流）</li> <li>○清水小路と清奇園、城下町の湧水たちとせせらぎの今</li> <li>○下水道の仕組み 等</li> </ul> <p>②川と陸の本来の姿（大地の見立てを再考する）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広瀬川の川幅は？川筋は？</li> <li>○明治-大正期の「広瀬川」を探る</li> <li>○六郷堀と七郷堀、孫兵衛堀</li> <li>○梅田川と小鶴池</li> <li>○農業水利と自然河川 等</li> </ul>
講師よりコメント	地形の制約に従った古来の都市づくりでは、「自然」と「人為」が折り合う無数の見所が形成されていました。残念ながら、現代、その多くが失われました。残された土地の息吹、潜在的な景観資産の再発見から地域づくりを考えましょう。
備考	<p>実施時期： 11月まで（活動の場合）</p> <p>①や②の詳細については、受講対象者にあわせて相談に応じます。</p> <p>「散策」方式での実施をご希望の場合、11月までに限ります。</p>

講座番号 <b>D14</b>	講座名：
	<b>それぞれの地域・環境に合った防災活動について</b>
講師名：八木山地域再生・創生ボランティアグループ YARVOG(ヤーボジー)	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
			○	○	○

実施会場	・たまきさんサロン ・受講団体が準備 (教室、講義室など)
------	-------------------------------------

対応人数	10人～90人程度(応相談)
所要時間	45分～120分程度(応相談)
受講者が準備するもの	講座の内容によって、必要な部屋の設備が変わってきます。

参考教科 ※1	
参考SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となるSDGsのゴール

講座概要	地域・環境に合った防災活動について、実践・体験・ワークショップを通して学ぶ
講座内容	<p>①それぞれの地域・環境にあった防災活動について考える講演・ワークショップ 防災先進地域八木山から様々な取り組みを紹介し、アドバイスさせていただきます。</p> <p>②さまざまなアクティビティを通して地域防災について話し合うワークショップ。学校や地域の実情に合わせて数十種類の授業プランから組み合わせて構成いたします。</p> <p>③災害時でも水も使わず、異臭・悪臭もしない環境にやさしい携帯トイレの製作体験。お子さんや高齢者の方にも作っていただけます。作ったトイレは、みなさんの非常時のためにストックいただけます。</p> <p>④八木山防災連絡会が開発したまったく新しい考えの非常食体験をしていただけます。非常時だけでなく毎日の生活に「時短料理」としても取り入れていただける内容です(別途材料費300円/人がかかります)</p> <p>⑤小さい子どもたちに災害時のファーストムーブを教えるぼうさいダンスの体験 踊り方や解説のDVDを差し上げますので地域での指導や縦割り学習等にもすぐ使えます。</p> <p>⑥視覚障害をもつメンバーが盲導犬と一緒にうかがって、障害者の非常時の必要や普段からの行動について一緒に考えていきます。</p>
講師よりコメント	いくつかの体験や授業を組み合わせるオーダーメイドが可能です。講師にご相談ください。また上級生がぼうさいダンスを体験し、縦割り学習で下級生に伝えながら、地域・環境に適した防災について考えるコースなどもオススメです。
備考	各コース単独でも受講可能ですが、対象者に合わせて適宜組み合わせ対応いたします。1時間授業(45分)、2時間授業(90分)など受講者にあわせて、ご相談ください。

講座番号 <b>D15</b>	講座名：
	<b>化学物質の環境リスク～リスクの大きさの考え方～</b>
講師名：東北工業大学 環境応用化学科 内田 美穂	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
				○	○




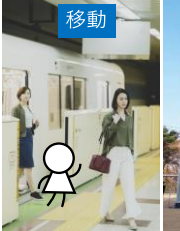

実施会場	・たまきさんサロン ・受講団体が準備 (教室、講義室など)
------	-------------------------------------

対応人数	10人～80人
所要時間	60分程度
受講者が準備するもの	スクリーン、プロジェクター

参考教科 ※1	
参考 SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となるSDGsのゴール

講座概要	化学物質が人の健康や生態系に及ぼすリスクの大きさの考え方について学ぶ
講座内容	<p>私たちは、日々の日常生活で食事や呼吸などを通して様々な化学物質を体の中に取り込んでいます。化学物質の性質によっては、人の健康にリスクを生じることがあります。しかし、化学物質はいつもリスクが生じるような「悪者」ではありません。使い方や使う量を考えて使うことで様々な良い効果を発揮します。それでは、良い面を引き出し、リスクを小さくするにはどうしたらよいのでしょうか。化学物質のリスクが「大きい」/「小さい」というのはどのような考えに基づいているのか紹介します。</p> <p>★ 曝(ばく)露量[化学物質を体に取り込む量]に影響を与える要因</p> <p>どこですごすのか      どんな行動?      どのくらい</p> <p><b>吸入曝露量 = 空気中濃度 × 呼吸率 × 行動時間</b></p> <p>吸って  <b>吸入</b></p> <p>↓      ↓      ↓</p> <p><b>生活環境</b>      <b>行動様式</b></p> <p> <b>屋内</b>       <b>移動</b>       <b>移動</b>       <b>屋外</b></p>
講師よりコメント	化学物質を体にどれだけ取り込むのか(ばく露量といいます)は、人それぞれが毎日過ごす生活環境や行動様式に大きく左右されます。感染症対策で生活環境や行動様式への注意喚起がなされる昨今ですが、化学物質についても同様です。リスクを大きくする要因をすることで、対策をたてていくことができます。
備考	実施時間の調整を行うことも可能です。 実施内容については、様々なニーズにあわせて対応することができます。 プロジェクターやスクリーン等が無い場合はご相談ください。



講座番号 <b>D16</b>	講座名：
	<b>地域の環境問題を心理学的アプローチで解決！！</b>
講師名：宮城学院女子大学 心理行動科学科 森 康浩	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
					○


実施会場	・たまきさんサロン ・受講団体が準備 (教室、講義室など)
------	-------------------------------------

対応人数	少数から大人数まで対応可能
所要時間	60分程度
受講者が準備するもの	資料を投影するスクリーンや液晶テレビなど(ない場合は相談してください)

参考教科 ※1	
参考SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となるSDGsのゴール

講座概要	地域の中でよく見られるごみのポイ捨てなどに心理学の視点から対処法を考える
講座内容	<p>地域の中で生じる問題としてごみのポイ捨ての対策があるのではないのでしょうか。地域の中でみられるポイ捨ては海ごみの問題ともかかわりがあります。そのため、環境問題と関わりが深い地域の中の問題といえるでしょう。</p> <p>このようなごみのポイ捨ては、よくごみがポイ捨てされてしまう場所とポイ捨てをされない場所があると思います。ポイ捨てをしようとする人にとって、心理的にしやすい場面とにくい場面があります。今回の講義では、どのようなことが原因でごみのポイ捨てが引き起こされているのか、ポイ捨てをしようとする人の心理を理解すること、さらにそのようなポイ捨てをしようとする人、してしまう人の心理を理解したうえで、地域の中で実施可能な対策についての知識をつけることで、有効な取り組みを実施する手立てを一緒に考えることができると思います。</p> <p>主な講義の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみやポイ捨てにまつわる環境問題</li> <li>・ポイ捨てをしてしまう人の心理</li> <li>・ポイ捨てに有効な働きかけについて</li> </ul>  <p>ポイ捨てされた容器包装プラスチック</p>
講師よりコメント	ポイ捨てを抑制するための働きかけの仕方やそもそも何が原因でそのような状態が作られていってしまうのかといったごみ問題と関わる心理学の話をしていきます。事例や具体的な対策、その効果について例を出しながら説明をします。身の回りにポイ捨てが顕著な場所があれば、写真もお持ちください。
備考	